

年頭所感

五霞町長

染谷 森 雄

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことに、お喜び申し上げます。

旧年中は町政全般にわたり格別のご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

昨年は、「人がきらめき だれもが 安心・安全に暮らせるまち五霞」を将来像とした、第5次総合計画（10年間）の初年度でした。この計画は、豊かな自然環境のもと「町民・各種団体・事業所・行政」が一体となり互いに《絆》を深め、「協働のま

ちづくり」を目指すもので、町民の皆さんには各事業やイベントに積極的に参加を頂き、大きな成果を得ることができました。感謝申し上げます。

私が好きな言葉に「郷土愛」があります。町長になってから4年間、夢中で走り続けて来た感があります。

脳裏にあるのは、いつも町民の皆様と共に安心して暮らせる町にしたいということだけでしたが、昨年11月中学生議会が開催され、「まちづくり」をテーマに様々な質問、提案がありました。それらの声を聴きながら、「まちづくり」を一步でも、二歩でも前進させ、子どもたちが誇りと自信を持てる、郷土づくりにこそが行政に携わる者の原点

であると改めて感じました。海の向こうでは、「チェンジ」を掲げたオバマ大統領が逆風に

あえいでいます。「変化」を求めた日本の政権交代も何が変わったのか良くわからないまま、混乱を深めた1年でした。このよ

うな中で、平成23年を迎えました。経済、雇用情勢等、引き続き厳しい状況が続いていくものと予測されます。本町においても、少子高齢化の急速な進展に加え、住民ニーズも複雑・多様化して来ており、まずは安定した国民生活が確保出来るよう期待しているところです。

本町においては、各事業も順調に推移しているところです。インター周辺開発を始めとして五霞町の明るい将来展望が開か

れるよう努めてまいります。

「新年とは年を新たにすることなく、自分の心を新しく持ちなおすこと」とも言われています。今年の干支のうさぎのことわざに「うさぎの上り坂」とある様に、良い方向に進む躍動感ある年でありたいと思います。

町民の皆様も、まず「健康が人生一番の幸せ」です。十分健康に配慮して頂き、ご家族、地域の絆を大切に今年1年頑張ってください。町民皆様のご多幸をお祈り致します。末尾に今年1年町政に対する、一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

五霞町議会議長

宇野 進 一

あけましておめでとうございます。皆様には、二〇一一年の新春を健やかに迎えのことに、お喜び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から町政に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げますとともに、議会を代表しまして新年のごあいさつを申し上げます。

さて、最近の日本を取り巻く情勢を見ますと、経済は依然として低迷期を脱却できず、円高・

デフレ基調が続くなか、高校・大学新卒者の就職問題や産業の海外流出による空洞化現象の高まりなどが懸念されております。また外交においては、尖閣衝突事件に端を発する中国との関係やロシアとの北方領土問題、北朝鮮の核開発問題や昨年11月に発生した韓国砲撃事件など目が離せない状況にあります。

本町においては、平成23年度税収は若干好転すると見込まれますが、公債費の償還など依然厳しい財政運営を余儀なくされております。

町議会といたしましても、少子・高齢化対策や道路・上下水

道、さらには小中学校における教育現場の充実といった公共施設の整備・維持管理などの諸課題解決のために取り組むことは、直接に町政を担当する私たち議員に課せられた責務であります。

今後とも、町政を取り巻く環境の変化を的確にとらえつつ、町民の皆様の声を真摯に受けとめ、町政の場における二元代表制の一翼を担う責任のもとに、なお一層の行財政確保のための行政監視機能などの強化を図り、町政発展のため、議会活動を充実させてまいります。

どうか本年も町議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りま

謹賀新年

公職選挙法の規定により年賀状などのあいさつ状を出すことは、答札のための自筆で出す場合を除き禁止されておりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

五霞町議会